

第53回ダム技術講演討論会

一般財団法人 日本ダム協会

第79回『ダム施工技術』講習会

合同開催のお知らせ (Web 併用)

一般社団法人日本大ダム会議と一般社団法人ダム・堰施設技術協会共催で例年開催しておりますダム技術に関する講演討論会を、ダム技術関連他協会との一層の連携を図るべく、昨年は日本ダム協会「ダム施工技術」講習会と合同で開催いたしました。本年も引き続き11月24日、25日に合同で開催することといたしました。

ダム技術講演討論会では、日本大ダム会議の分科会報告並びに特別講演、ダム・堰施設技術協会からゲート等の最新技術が発表されます。また、「ダム施工技術」講習会では、最新のダム情勢、最新のダム技術を紹介します。

この二日間の講演討論会及び講習会は、最近のダム建設事情や最新の施工技術等を知ることができ、また活発な討議と多くの交流の機会を得る良い機会ですので、多くの皆さまに参加いただきたくご案内いたします。

なお、今回は新型コロナウイルス感染症対策として入場者数を80名に制限することにいたしました。Web会議による参加も可能といたしましたので、是非参加くださいますようお願い申し上げます。

記

- 開催日程**

第1部	ダム技術講演討論会
2020年11月24日(火)	10時00分～15時00分(予定)
第2部	『ダム施工技術』講習会
2020年11月24日(火)	15時20分～17時50分(予定)
2020年11月25日(水)	9時20分～16時50分(予定)
- 会場** 日本橋社会教育会館 8Fホール (Web 併用)
〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町1-1-17 (TEL 03-3669-2102)
東京メトロ日比谷線・都営鉄浅草線 人形町駅 A2、A6番出口より徒歩約3分
東京メトロ半蔵門線 水天宮駅 8番出口より徒歩約5分
- 定員** 会場参加： 80名 Web参加： 制限なし
- 申込方法** 申込フォームにご記入の上、E-Mailにてお申込みください。
フォーマットは当会議HP (<http://jcold.or.jp/j/activity/>) にアップロードしておりますのでそちらをご使用ください。
- 申込期限** 2020年11月13日(金)
本年は事前に申し込みをされた方のみとさせていただきます。
- 申込先** 一般社団法人 日本大ダム会議
〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町1-2-7 人形町サンシティビル2階
TEL 03-5614-0968 FAX 03-5614-0969
E-Mail : secretariat@jcold.or.jp

7. 受講料 第1部ダム技術講演討論会：8,000円
 第1部ダム技術講演討論会・第2部『ダム施工技術』講習会：15,000円
 第2部のみの料金設定はありません。
 (Web会議で参加の場合)
 第1部ダム技術講演討論会・第2部『ダム施工技術』講習会：8,000円
 第1部のみ及び第2部のみの料金設定はありません。
 テキストは事前に郵送いたします。

8. 支払方法 申し込みを頂き次第、請求書をお送りしますので11月20日(金)までに下記口座のいずれかにお振込み下さい。後日、参加券をお送りいたします。
 参加券の郵送が間に合わない場合は当日受付にて対応いたします。
 その他、ご希望等がございましたら別紙申込フォームの備考欄にご記入ください。

口座名 一般社団法人 ^{にほんだいだむかいぎ} 日本大ダム会議
 振込先 みずほ銀行 虎ノ門支店 (普通口座 1803970)
 三井住友銀行 日比谷支店 (普通口座 3403596)

8. 問合せ先

一般社団法人 日本大ダム会議 干場(ほしば)、小金沢 (TEL 03-5614-0968)
 一般社団法人 ダム・堰施設技術協会 柏木、鈴木 (TEL 03-3267-0371)

日本橋社会教育会館地図



本討論会は、土木学会継続教育 (CPD) 認定プログラムとして開催します。
 WEB 参加者については受講確認を行い、受講して得られた学びや気付き (感想) を 100 文字以上で主催者に提出することが必要です。また、土木学会以外の CPD に単位を登録する際、受講したことがプログラムとして認められるかどうかは、各団体のルールに従ってください。



第53回ダム技術講演討論会
第79回「ダム施工技術」講習会
プログラム

令和2年11月24日(火)～25日(水)
日本橋社会教育会館 8F ホール

11月24日(火)

10:00 ～ 10:15 開会挨拶 杉山 弘泰 (一社)日本大ダム会議 会長
工藤 啓 (一財)日本ダム協会 専務理事

第1部 ダム技術講演討論会

セッション1 司会 安田 吾郎 (一社)日本大ダム会議 常務理事

10:15 ～ 11:45 「日本大ダム会議 技術委員会分科会活動報告」

●ダム設計基準調査分科会 報告

柳川 城二 氏 (ダム設計基準調査分科会委員長)

佐藤 弘行 氏 (地震WG幹事)、箱石 憲昭 氏 (洪水WG長)

吉野 泰 氏 (既設ダムWG長)、山口 嘉一 氏 (新型式のダムWG長)

～ 12:00 質疑応答

12:00 ～ 13:00 —— 昼食休憩 ——

セッション2 司会 柏柳 正之 (一社)日本大ダム会議 専務理事

13:00 ～ 14:10 「特別講演」

●衛星データを活用するダムの外部変形及び

貯水池周辺斜面の監視技術の現状と展望 (仮題)

清水 則一 氏 (山口大学)

～ 14:20 質疑応答

セッション3 司会 荒井 猛 (一社)ダム・堰施設技術協会 技術部長

14:20 ～ 14:50 「ダム・堰施設技術協会 会員活動報告」

●ハッ場ダム機械設備施工 (仮題) 松尾 直哉 氏 (株)IHI インフラシステム

～ 15:00 質疑応答

15:00 ～ 15:20 —— 休 憩 ——

第2部 「ダム施工技術」講習会 司会 中野 朱美 (一財)日本ダム協会

セッション1

15:20 ～ 16:20 「日本ダム協会施工技術研究会 第2部会 活動報告」

●コンクリートダムのひび割れ調査結果報告書

林 健二 氏、太田 宏通 氏、新井 博之 氏

セッション2 (1日目)

16:20 ～ 17:50 ●ラオス国ナムニアップ1におけるRCCダムの最新技術について

筒井 勝治 氏、中村 和男 氏、青坂 優志 氏 (関西電力株)

第53回ダム技術講演討論会
第79回「ダム施工技術」講習会
プログラム

令和2年11月24日(火)～25日(水)
日本橋社会教育会館 8F ホール

11月25日(水)

第2部 「ダム施工技術」講習会 司会 中野 朱美 (一財)日本ダム協会

セッション2 (2日目)

- 9:20 ～ 10:50 ●ダム事業をめぐる現状と今後の展望
島本 和仁 氏 (国土交通省 水管理・国土保全局治水課)
- 10:50 ～ 11:50 —— 昼食休憩 ——
- 11:50 ～ 13:10 ●水資源機構における i-Construction & Management の取り組み
～川上ダムにおける活用事例など～
杉浦 友宣 氏 ((独)水資源機構)
- 13:10 ～ 14:20 ●八ッ場ダムにおける最新技術活用について
小島 宏一 氏 (国土交通省関東地方整備局 利根川ダム統合管理事務所)
長谷川 悦央 氏 (清水建設株)
- 14:20 ～ 14:30 —— 休 憩 ——
- 14:30 ～ 15:40 ●サンルダム (台形CSGダム) における最新技術活用について
赤坂 友二 氏 (北海道開発局 旭川開発建設部
名寄河川事務所サンルダム管理支所)
土肥 聡 氏 (大成建設株)
- 15:40 ～ 16:40 ●堤体PSアンカー工法による千本ダム耐震補強工事の技術談義
川崎 秀明 氏 ((一財)ダム技術センター)
太田 親 氏 (株大林組)
- 16:40 ～ 16:50 閉会挨拶 工藤 啓 (一財)日本ダム協会 専務理事

*テーマ、講師は変更する場合がございます。

ダム技術講演討論会、「ダム施工技術」講習会 申込フォーム記入例 (Excel)

受講者							
参加形態	氏名	会社名	部署・役職	〒	住所	TEL	E-mail
例 ①	大ダム 太郎	一般社団法人日本大ダム会議	事務局長	103-0013	東京都中央区日本橋人形町1-2-7 人形町サンシティビル2F	03-5614-0968	taro@jcold.or.jp
②	大ダム 次郎	一般社団法人日本大ダム会議	事務局員	103-0013	東京都中央区日本橋人形町1-2-7 人形町サンシティビル2F	03-5614-0968	jiro@jcold.or.jp
③	大ダム 三郎	一般社団法人日本大ダム会議	事務局員	103-0013	東京都中央区日本橋人形町1-2-7 人形町サンシティビル2F	03-5614-0968	saburo@jcold.or.jp
参加形態 ①第1部ダム技術講演討論会:8,000円 ②第1部ダム技術講演討論会・第2部『ダム施工技術』講習会:15,000円 ③(Web参加)第1部ダム技術講演討論会・第2部『ダム施工技術』講習会:8,000円							

申込担当者						備考(請求書の作成方法や送付先、参加券の送付先などのご指示、その他ご要望があればご記入ください。)
氏名	部署・役職	〒	住所	TEL	E-mail	
会議 一郎	総務部	103-0013	東京都中央区日本橋人形町1-2-7 人形町サンシティビル2F	03-5614-0968	secretariat@jcold.or.jp	例) 請求書は申込担当者に、参加券は受講者に送付してください。
同上						
同上						例) 請求書は申込担当者に、テキストは受講者に送付してください。